

Anti-Pitching Fin の制御について

1) 運動方程式と制御量

羽搏き式 Fin として 元来動く揚力を F とすると

運動方程式は

$$\left. \begin{aligned} Z_{11} I_1 + Z_{12} I_2 &= V_1 - F \\ Z_{21} I_1 + Z_{22} I_2 &= V_2 - lF \end{aligned} \right\} \dots (1)$$

I_1 : 上下ゆれ速度, I_2 : 縦ゆれ角速度

V_i : 流体揚力以外のモーメント

Z_{ij} : インピーダンス

l : 重心から測った Fin 位置

元来動く力は

$$F = \gamma \left[I_1 + \left(l - \frac{V}{i200} \right) I_2 + I_3 + v_w \right], \dots (2)$$

$I_3 = \frac{S_f \delta}{2}$: Fin のストローク

v_w : 流の非位置における上向き速度

Fin 制御機構の方程式は

$$Z_M I_3 + F = V_E; \dots (3)$$

V_E : 電源電圧 E の相当力

a) I_1, I_2, I_3, v_w を測定している場合

$$V_E = (Z_M + \gamma) I_3 + \gamma I_1 + \gamma v_w + \gamma l I_2, \dots (4)$$

あるいは相対速度 v_r は

$$v_r = v_w - I_1 - l I_2, \dots (5)$$

で表すから

$$V_E = (Z_{11} + Z)I_3 + 2ZI_1 + \dots + ZV_r, \quad \dots (16)$$

のように設定すれば (3) 式は、(2) を考慮して、

$$-\frac{\partial V}{\partial \omega_e} I_2 = 0 \quad (7)$$

$$I_2 = i\omega_e \psi \quad (\psi: \text{ヒッチ角}) \text{ であるから } \psi = 0 \text{ として (7) 式は}$$

$$\psi = 0 \quad \dots (8)$$

となり、(1), (2) 式は、

$$\left. \begin{array}{l} Z_{11} I_1 = V_1 - F \\ Z_{21} I_1 = V_2 - lF \end{array} \right\} \dots (9)$$

$$F = Z(I_1 + I_3 + V_{20}), \quad \dots (10)$$

(9) 式から

$$I_1 = \frac{lV_1 - V_2}{lZ_{11} - Z_{21}}, \quad \dots (11)$$

$$F = \frac{V_2 - V_1 Z_{21}/Z_{11}}{l - Z_{21}/Z_{11}} \quad \dots (12)$$

(12) の右辺の分子は (1) において $F=0$ とした場合の強制モーメントである。

故) I_1, I_2, I_3, F を測定する場合、

(4) 又は (6) での V_{20} 又は V_r を測定しなくてはならないがこれはあまり得策でない (雑音が多い) と考えらるるので、今度は F を測定する事とする。

この場合は V_E として、

$$V_E = \sum_M I_3 + F = \frac{\beta V}{i\omega \epsilon} I_3, \quad \dots \quad (13)$$

とあくと(13)式は(7)式となり(8)が成立し

以下同様なり。

ii) 強制動揺の場合。
運動方程式は

$$\left. \begin{aligned} \sum_{11} I_1 + \sum_{12} I_2 &= -F \\ \sum_{21} I_1 + \sum_{22} I_2 &= -lF \end{aligned} \right\} \quad (14)$$

$$F = \beta \left[I_1 + \left(l - \frac{V}{i\omega \epsilon} \right) I_2 + I_3 \right], \quad (15)$$

$$\sum_M I_3 + F = V_E, \quad (16)$$

$$I_1 = \frac{F}{\Delta} [l \sum_{12} - \sum_{22}], \quad I_2 = \frac{F}{\Delta} [\sum_{21} - l \sum_{11}], \quad (17)$$

$$\Delta = \sum_{11} \sum_{22} - \sum_{12} \sum_{21}$$

$$F \left[1 - \frac{\beta}{\Delta} \left\{ (l \sum_{12} - \sum_{22}) + \left(l - \frac{V}{i\omega \epsilon} \right) (\sum_{21} - l \sum_{11}) \right\} \right] = \beta I_3$$

$$F = \frac{\Delta}{\Delta'} \beta I_3, \quad \dots \quad (18)$$

$$\Delta' = \sum_{11}' \sum_{22}' - \sum_{12}' \sum_{21}'$$

$$\left. \begin{aligned} \sum_{11}' &= \sum_{11} + \beta, & \sum_{22}' &= \sum_{22} + l \left(l - \frac{V}{i\omega \epsilon} \right) \beta \\ \sum_{12}' &= \sum_{12} + \left(l - \frac{V}{i\omega \epsilon} \right) \beta, & \sum_{21}' &= \sum_{21} + l \beta \end{aligned} \right\} \quad (19)$$

$$\therefore V_E = \left(\sum_M + \frac{\Delta}{\Delta'} \beta \right) I_3, \quad \dots \quad (20)$$

さて(15)の式から V_E を知ると I_1, I_2, I_3, F を測定すれば
 所要の β の値が求まる。

特に Z_M は (16) 式で $(V_E - F)$ と I_3 を測ればよい。

(ii) 所要の F は β の値が求まる。

適当な F の値を考慮して区間 β を選べば V_E は与えられ、
 (11) (12) により F と I_1 も与えられてくるから(10)より

$$I_3 = \frac{F}{\beta} - I_1 - V_E$$

と計算出来る。

したがって与えられた値に I_3 が β の範囲内にあれば
 よい。